

法人名：

株式会社 秋田県食肉流通公社

設立年月日 昭和53年6月6日

1 法人の概要													
代表者職氏名	代表取締役社長 土田 正広		資本金	1,319,700千円		県出資等額及び比率	445,710千円 (33.8%)		所管部課名	農林水産部畜産振興課			
設立目的	秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家経済の発展と県民生活の向上に寄与することを目的に設立												
事業概要	①肉畜の集荷、と殺、解体 ②枝肉及び副産物の買い取り並びに受託処理加工 ③食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売 ④前各号に付帯する一切の事業												
関連法令、県計画	と畜場法、食品衛生法												
役員数 (R5.7.1現在)	理事		監査役		評議員		計		職員数 (R5.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤					
	3	7	1	2			4	9	※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示。				

2 法人の行動計画(令和4～7年度)									
県関与のあり方	縮小・廃止		経営状況	概ね安定		取組の方向性	・内部留保の積み増し		
目標	<p>○安定的経営の継続に向け、と畜頭数及びカット頭数の事業量増を推進するとともに、秋田牛の輸出量の拡大を図る。 【目標】と畜頭数(豚換算) R4年度:190,800頭、R5年度:194,200頭、R6年度:198,000頭、R7年度:202,000頭 カット頭数(豚換算) R4年度:114,000頭、R5年度:117,000頭、R6年度:119,000頭、R7年度:121,000頭 牛肉輸出量 R4年度:16.5t、R5年度:21.6t、R6年度:26.9t、R7年度:30.4t</p>								
取組	<p>○と畜頭数の拡大 生産者はもとより県を始めとする関係機関等と打合せを頻繁に行うなど連携を密にし、生産者等にと場利用を推進する。 ○カット頭数拡大 カット作業委託先における外国人研修生を含めた人員の確保を推進するとともに作業内容の見直しを行い、効率的な作業体制を確立する。 ○秋田牛の輸出拡大 輸出を志向する取引業者等との連携強化と県と一体となった海外での販促活動(商談会への参加等)に積極的に取り組む。</p>								

3 財務															
①損益計算書 (単位:千円)					②貸借対照表 (単位:千円)					<主な経営指標>					
区分		令和3年度	令和4年度		区分		令和3年度	令和4年度		項目		令和3年度	令和4年度		増減※
売上高		9,882,290	10,681,528		流動資産		949,197	966,291		経常収支比率 (経常収益÷経常費用)		100.1%	100.2%		+0.1
売上原価		9,405,796	10,196,013		固定資産		945,155	903,124		流動比率 (流動資産÷流動負債)		304.2%	295.4%		△8.8
売上総利益		476,494	485,515		資産計		1,894,352	1,869,415		自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)		72.4%	73.8%		+1.4
販売費及び一般管理費		476,474	478,171		流動負債		312,066	327,165		有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)		12.8%	8.0%		△4.8
人件費(売上原価含む)		325,567	328,263		短期借入金		65,344	52,674		※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。					
営業利益(損失)		20	7,344		固定負債		210,917	162,224							
営業外収益		10,522	11,844		長期借入金		110,149	57,475		<退職給与引当状況(単位:千円)>					
営業外費用		2,228	2,067		負債計		522,983	489,389							
経常利益(損失)		8,314	17,121		資本金		1,319,700	1,319,700		※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。					
特別利益		52,500	19,000		利益剰余金等		51,669	60,326							
特別損失		52,525	19,000		純資産計		1,371,369	1,380,026							
法人税、住民税・事業税		3,582	8,464		負債・純資産計		1,894,352	1,869,415							
当期純利益(損失)		4,707	8,657												

③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く) (単位:千円)				
区分	令和3年度	令和4年度	支出目的等	
年間支出				
年度末残高				

法人名：

株式会社 秋田県食肉流通公社

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況				
<p>【令和4年度実績】</p> <p>○と畜頭数(豚換算) : 189,023頭(目標190,800頭、達成率99.1%)</p> <p>○カット頭数(豚換算) : 110,008頭(目標114,000頭、達成率96.5%)</p> <p>○牛肉輸出量 : 33t(目標16.5t、達成率200%)</p>	<p>【令和4年度実績】</p> <p>○豚枝肉の相場高などにより、売上高は前年比799,238千円増の10,681,528千円となった。</p> <p>○販売部門の収益増などにより、経常利益は17,121千円、当期純利益は8,657千円の黒字となった。</p>				
<p>【自己評価】</p> <p>○「と畜頭数」及び「カット頭数」については、いずれも行動計画の目標数値にわずかに届かなかったものの、前年比では、と畜頭数が338頭、カット頭数が2,696.5頭と増加した。</p> <p>○秋田牛の輸出については、タイ・台湾へ積極的な販売・PR活動を行った結果、目標値を大きく上回る33tの輸出量となった。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>○豚枝肉の上物相場平均が前年より54円高い560円と近年にない価格となり、売上高が初めて100億円以上となった。</p> <p>○エネルギー価格の高騰により光熱費が前年比37,337千円増となるなど、大変厳しい経営状況であったが、販売経費の見直しなどの経費節減に努めたほか、販売部門の収益増などがあり、結果的には前年を上回る黒字を計上することができた。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	評価	B	A
評価	評価				
B	A				

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況				
<p>○「と畜頭数」と「カット頭数」については、目標未達成となったものの、いずれも前年実績より増加しており、達成率も100%に近い水準にあることから、引き続き、大規模農場との連携や効率的な作業体制の確立など、目標達成に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>○「牛肉輸出量」については、目標を大きく上回る実績をあげており、「秋田牛」の生産流通拠点として、引き続き、県産牛肉の輸出拡大を牽引していただきたい。</p>	<p>○令和4年度の経常損益は黒字であり、施設整備に関して県の補助事業を活用しているものの、累積債務はない。</p> <p>○8期連続の黒字決算と経営は安定しているものの、電力や燃油、各種資材価格の高騰により、厳しい経営環境が続いていることから、引き続き、経費節減や業務効率化に取り組んでいただきたい。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	評価	B	A
評価	評価				
B	A				

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
A	<p>○行動計画に定める「と畜頭数」及び「カット頭数」については目標を達成することができなかったものの前年比で増加であったことや、「牛肉輸出量」の実績が目標を大きく上回った点については評価できる。</p> <p>○経営状況については、売上高が100億円を超えており、8期連続黒字決算と安定しているものと評価できる。</p>

【委員からの提言】

- 畜産業者の経営破綻を防ぐためにも、品質保証制度の導入など、県産畜産物の品質向上・ブランド化による1頭当たりの価格・利益率向上に取り組むべきと考える。
- 販売部門では、肉や加工品等を自社ホームページで販売するなど、さらなる経営状況の安定化、内部留保の積み増しに努めていただきたい。

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
<p>○行動計画に定める目標の達成に向け、「と畜頭数」及び「カット頭数」の確保や「牛肉輸出量」の拡大に積極的に取り組むとともに、一層の経営安定化に向け、経費節減や業務効率化などの取組を継続するほか、ホームページの活用による自社製品の販売促進などについても検討する。</p> <p>○県産畜産物の品質向上等に当たっては、徹底した衛生管理などに取り組み、引き続き、安全・安心な食肉を消費者へ届けられるよう努めていく。</p>	<p>○安全・安心な食肉生産や県産畜産物のブランド推進など、秋田県食肉流通公社が担う公共性の高い役割が引き続き発揮されるよう、畜産振興施策の推進において、十分な連携を行うとともに、行動計画に定める目標の達成等に向け、必要な指導・助言を行う。</p>